



佐久市立望月小学校  
学校だより

# 駒の子

令和5年(2023年)  
10月16日(月)  
(担当：校長)

## 10月の校長講話から

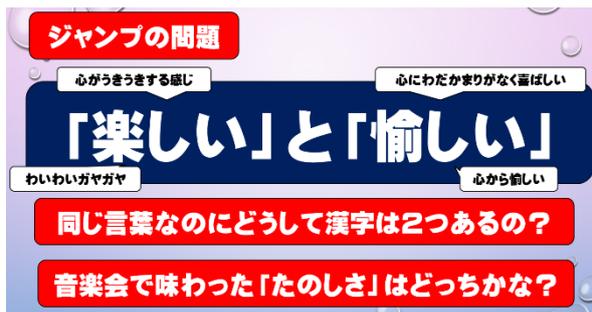
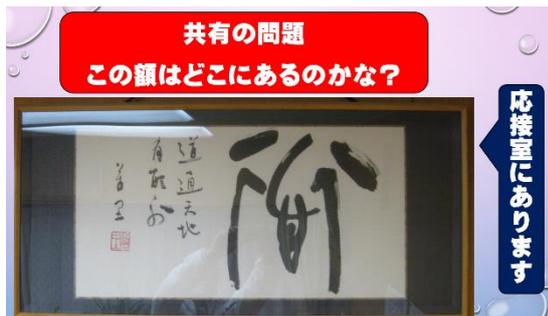
今月の校長講話は『たのしい』の中身について考える』というテーマで話しました。

そのスライドの幾つかと子どもたちの感想を紹介します。

**10月の校長講話**  
令和5年10月11日(水)  
テーマ(学習問題)  
**『たのしい』の中身について考える**

話の内容  
①9月の校長講話のふりかえり  
②音楽会から  
③ジャンプ問題から考える

10月10日は目の保健日  
目を大切にしよう!



### <感想>

「楽しい」と「嬉しい」の違いは、楽しい方は「自由で楽しい意味だ」と思います。逆に嬉しい方は「勝ったりして嬉しいと言う意味だ」と思います。



( ) さん)

→ 梨風さんも陽菜さんも自分の体験と重ね合わせて

「楽しい」は、みんなと遊んでいる感じで、もう一つの「嬉しい」は、心の中でわらっている感じがした。



( ) さん)

「たのしい」の違いを考えているところがいいですね。

今日初めて「楽しい」と「嬉しい」があることを知りました。私はいつも学校に来るのがたのしいです。このたのしいは「嬉しい」です。音楽会もすごくたのしかったです。みんなでたくさん練習をして、本番でも音を合わせられてたのしかったです。このたのしいも「嬉しい」という漢字です。なぜかという、音楽会は心からたのしかったからです。これからも学校生活はこの「嬉しい」で過ごしたいです。



( ) さん)

→ 梨紗さんは、自分が努力することによって学校生活でも音楽会でも「嬉しい」を感じているのだと思います。

今日のジャンプ問題の「楽しい」と「嬉しい」の意味の違いは？というので私が考えたことは、まず、「楽しい」は、普通に遊んだりしての「楽しい」だと思いました。「嬉しい」は、りっしんべんが使われているので、それが入っている漢字に「悔しい」があるから、例えば何かに負けて悔しいけど楽しかったという意味なのだと思います。

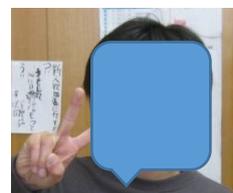


( ) さん)

私はバレーボールをやっています。なので試合に負けたりすることもあります。そうしたら、怒ったりしないでこの「嬉しい」にしたいです。

→ 心を表すりっしんべんに目をつけて、自分の気持ちの持ち方で「嬉しい」にしようとしているところがいいですね。

今日の校長講話の話を聞いて「嬉しい」と「楽しい」のことを書きます。僕は、音楽会のたのしいは二個の楽しいと嬉しいだと思います。なぜかという、楽しいは一人ひとり、自分自身頑張った方だと思います。嬉しいは「ソラ・レーオ」のように五学年全員が力を合わせてみんなで頑張った方だと思います。自分自身が楽しいと嬉しいを達成できて大成功の音楽会になってよかったです。



( ) さん)

→ 2つの「たのしい」の違いを音楽会の振り返りで考え、そのどちらも味わえたことを実感できたところがいいですね。

## 日記から

今日は、音楽会がありました。ぼくは、すごく緊張しました。最初は「もののけ姫」をやって、ぼくは、1回もまちがえませんでした。(略)

ぼくは、音楽会があったから、音楽が好きになりました。

なので、これからも音楽を一生懸命楽しみたいです。

**がんばって味わう「愉しさ」**

## ふりかえり

テーマ(学習問題)

**「たのしい」の中身について考える**

**めあてをもって努力するとき感じる「たのしさ」**

**友だちと協力したとき感じる「たのしさ」**

**美しいものにふれたとき感じる「たのしさ」**

終わり

校長先生の「**美しいものを見た時に嬉しいと感じる**」という言葉で「**やっぱり**」と思いました。

なぜかと言うと僕は旅に行って木彫りを見た時、嬉しくなります。

毎回「**なぜだろう**」と思っていました。校長先生の言葉を聞いて

**「そういうことだったのか」**

と思いました。教室に帰ってきて胸がスッカリしました。 さん

→ 自分の体験で疑問に感じたことを講話の最後の一言を聞いて「**そういうことだったのか**」と納得したところがいいですね。最後まで集中して、考えながら聞いていたことがわかります。

僕はジャンプ問題の答えを答えます。ジャンプ問題の答えは

**「作った国が違うからだ」**と思います。理由は違う国が作れば同じ楽しいでも違う楽しいになると思うからです。

感想はとてもわかりやすかったので良かったと思います。音楽会の振り返りでは**「みんなこういうこと思っていたんだなー」**って思いました。

さん

→ 音楽会の感想を聞いて「**みんなこういうこと思っていたんだなー**」と共感しているところがいいですね。

今日の校長講話を聞いて思ったことを書きます。

まずは、「楽しい」と「嬉しい」のことです。

僕はこの話を聞いて、初めて「嬉しい」と読むことを知ったし、意味も楽しいと違って面白いと思いました。次は、音楽会のことです。「**全校の人がいい感想をかけた**」と思います。**休んでいた人も、家で応援などをしていた**と思います。出ていた人も、よく書けていたと思います。



さん

→ 音楽会の感想のよさを感じたことに加えて、音楽会を休んでいた人のことも想像しているところがいいですね。

『嬉しい』という漢字は、一度校長室に行ったときに、校長先生に教えてもらったんですけど、『嬉しい』という漢字の意味を知ったとき、「**『楽しい』と『嬉しい』違う意味なんだな**」って思いました。

この『楽しい』とこの『嬉しい』を心に入れて「**この2つの漢字を極めたいな**」と思いました。 さん

→ 2つの漢字の違いを知って「**この2つの漢字を極めたいな**」とめあてをもてたところがいいですね。

私が考えた、「嬉しい」と「楽しい」の2つがある理由は、**心から嬉しいとワイワイ楽しいの2つに分かれているからだ**と思います。

例として、『きく』の漢字は「聴く」と「聞く」の2つがありますよね？

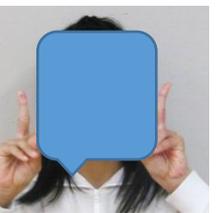
「**聴く**」は、漢字に耳と目(横になって入っている)と心が入っているから、**耳と目と心で聴く**ということだと教わったことがあります。

一方「**聞く**」の方は、漢字に耳しか入っていないので、目を向けずに**耳だけで聞いている**のではないかと思います。

「楽しい」は、楽に遊んで、**自分たちが楽しいだ**と思います。

小平さんが言っていた「嬉しい」は、部首に心が入っているので、**心から楽しく、周りの人も嬉しい**という意味も入っていると思います。

私は修学旅行で、国会議事堂に行ったり新幹線に乗ったりするので、周りの人も気持ちよく過ごせるような「嬉しい」を心がけていきたいです。



さん

→ 「きく」にも2つの漢字があることを例にして、漢字の成り立ちから意味を考えているところがいいですね。また、修学旅行につなげて考えているところもいいです。